

!!

まちのたから

# 発見



## 青年海外協力隊

よしざわ ゆうすけ  
吉澤 雄介さん (木津)



吉澤さんは平成25年9月から2年間、青年海外協力隊平成25年度2次隊としてアフリカ南部のザンビア共和国へ赴任されていました。

### ●当たり前が 当たり前じゃない

ザンビアでは障がいのある子どもが通う養護学校で教員として活動されています。活動内容は子ども達の指導、同僚の指導力向上のための助言や研修の実施、障がいのある子ども達の家族への障がいの理解・啓発を目的にした研修の実施をされました。一番苦労されたことは文化の違い。「日本での当

り前が通じないのでアプローチの仕方をいろいろ考えました。一番印象に残っている文化の違いは良くも悪くもマイペースなことです。予定したように進まず苦労したこともありましたが「とお話しいただきました。」と

### ●貴重な出会いとつながり

赴任前は養護学校で働いておられた吉澤さん。中学生の頃に障がいのある児童が夏休み期間に通うサマースクールにボランティアで参加され、障がい児の支援活動等をされていました。青年海外協力隊には大学生のころから興味をもたれていましたが、日本での実務

経験がないままでは、海外での指導はもつと難しくなるだろうと考え、応募はさねなかつたそうです。

大学卒業後、勤めていた養護学校の先輩に青年海外協力隊のOBの方がおられました。その方の協力隊での活動等の話を聞き、参加したいと強く思い応募されました。

今後は「今回の経験を活かして、発展途上国で障がいのある子ども達とかかわっていきたいです。参加して一番良かったことは、人とのつながりができたことです。現地の同僚や子ども達とは参加しなければ出会えない、貴重な出会いとつながりとなりました」とお話しくださいました。



▲現地の子ども達とソーラン節で交流されました (撮影：渋谷敦志)

## しがぎん日野経友会さんから 寄付をいただきました



町内企業17社で構成されているしがぎん日野経友会(写真左から、岡幸一会長、廣瀬眞副会長、福地祥浩幹事、事務局・滋賀銀行日野支店徳永三智雄支店長)から、子ども達に「本」に興味を持ってもらえるようにと、学級文庫をはじめとした図書を整備のために寄付をいただきました。この取り組みは、町内の小学校の読書環境の一層の充実に寄与するため、毎年行っていました。

今年度は日野小学校と西大路小学校、南比都佐小学校の図書整備のため有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

## 湖東信用金庫さんからトイレレット ペーパーを寄贈していただきました

湖東信用金庫さん(山本英司理事長)から、リサイクルトイレレットペーパーを500ロール寄贈していただきました。

このトイレレットペーパーは湖東信用金庫内の廃棄文書をリサイクルして作られたもので、平成20年から8年間、毎年寄贈をいただいています。

これらは、町の教育施設で使用させていただきます。ありがとうございました。

